

社会福祉法人サンタマリア会 特別養護老人ホーム恵の里

令和1年度事業報告書

本年度は令和2年1月下旬より、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、世界的なパンデミックに至る渦中に、高齢者施設として超高リスクな環境下で、対応を迫られることになりました。理事長、施設長の指示の下、次々と徹底した感染防止対策に、職員全員が取り組んでおります。幸い利用者様、職員に1名の発症者もなく、完全に防御することができました。終息には至っていませんが、今後も臨機応変に最大限の感染防御に取り組んで参ります。

1 事業運営基本方針

施設が開所してから12年が経過いたしました。施設長を中心に職員一同初心に帰り、日々取り組んでおります。介護保険法の改正で、介護度が上がったことにより、重症者を多く抱える結果となり、急性憎悪による初期治療の対応や急性期病院への入院判断、看取りによる死亡等予想以上に医療的な対応を求められることが多くなり、職員の対応が困難な場面が増えております。施設内でも、安全管理や感染防止、褥瘡対策など毎月委員会を行い、研修会も活発に開催し、職員の資質の向上に取り組んでいます。

入居者は、年間を通じほぼ80床満床を維持することが難しくなっており、サ高住や有料老人ホームが数多く建設され、営業も活発に行われている影響で待機者も実数としては、関連施設の介護老人保健施設ベルフラワーでの待機者を除くと大幅に減っており、新たな入居希望者の獲得が大きな課題となっております。又地域の医療機関や社会福祉施設、居宅サービス事業所等にも、様々な面で運営等をサポートしていただいております、より地域に根付いた福祉施設を目指しております。

新たにペットケアハウスも開設し、ハウスでお預りすることも、居室でもご自宅でお世話されていたペット犬と同居することもでき、入所機会の不安も減少し、入所者確保に貢献するものと思っております。

2 生活支援

(1) 生活相談

入居前より家族及び本人個々に面談し、いままでの生活習慣や健康状態をできるだけ把握するとともに、昔からの嗜好や性格も考慮に入れ、一人一人にあった対応に心がけています。また入居後も日々の生活や健康状態、不安点などの相談にも応ずべく、穏やかに暮らしていただけるよう対応しています。

(2) 食事

- (ア) 入居者の嗜好にあった食事を提供するため、嗜好調査ならびに残量調査を適宜おこなっています。
- (イ) 温冷配膳車で常にあたたかい物はあたたかく、冷たいものは冷たく、出来立て感のある食事を提供しています。
- (ウ) 管理栄養士が栄養に関するマネジメントを行い、バランスの取れた栄養状態を維持できるよう献立を工夫しています。
- (エ) 施設外で実施される研修や勉強会に積極的に参加し調理における衛生意識の向上に努めています。
- (オ) 健康面から個々に適した食事形態を考え、経口摂取をできるだけ維持し、場合によっては濃厚流動食も併用しています。
- (カ) 胃瘻造設者も本人の状態や医師・看護職員の判断のもと経口摂取に

移行できるよう努力しています。

- (キ) 食事前の手洗いの徹底を全館上げて進めています。
- (ク) バイキングは、何か外食をしている気分になり、非常に好評なので、引き続き実施しています。
- (ケ) いつも炊き立てのおいしいお米を召し上がっていただくため、毎回フロアで必要分のごはんを炊いています。
- (コ) 給食委員会を月1回開催し様々な角度から提供している食事について検討を加えより良い食事を提供しています。

(3) 排泄

トイレ誘導は、オムツはずしのキーポイントであり、入居者個々の生活リズムを把握した上で、定期的かつ効果的におこなっています。夜間はポータブルトイレも含め、個々に対応しています。おしめ交換は、個室であるという利点を生かし、部屋の中で、プライバシーを尊重しながらおこなっています。もちろん衛生面から手洗いについては、あらゆる機会に徹底しながら、おこないます。又トイレに座らせることにより、尿意や便意がよみがえったり、内臓が活発に働いたりする効果が期待できるため、できる限り実施しています。

(4) 入浴

入居者にとって、楽しみの一つであり、ゆったりとリフレッシュしていただくために、できるだけユニットの個浴でおこなっています。時間の制約はあるものの、入居者の生活リズムに合わせて入って頂いています。又入浴は入居者の健康状態をチェックする場でもあり、体の変化を見逃さないようすると共に、入浴後の水分補給は必ずおこなっています。入浴にはもう一つ大きな目的があり、それは入居者の健康チェックの場でもあります。入浴介助の際入居者の体をくまなく観察し、異常や変化がないかを点検し病気や不調のサインを見逃さず早期に発見することです。特に痔瘻などは早いうちに処置することが重要なポイントとしています。

(5) レクリエーション

入居者の生活に変化と活力をもたせるため、レクリエーションは欠かせないものです。毎週水曜日には、1階の総合談話室に降りてもらい、お茶やカラオケ・ビデオ鑑賞等をしてもらうとともに、他のユニットの入居者と交流して頂いています。屋上菜園は、各フロアに3区画を割り当てそれぞれフロアごとに、花でも野菜でも好きなものを植える。収穫は高齢者にとって大きな喜びとなって頂くことを期待しています。その他手芸クラブや将棋クラブといったクラブ活動にも参加して頂き喜んで頂いております。又定期的にボランティアの訪問を企画しいろんなジャンルで、楽しんで頂いています。

(6) 機能訓練

入居者のADLを出来るだけ維持改善できるよう機能訓練指導員が立案し個々に機能訓練計画を立て、利用者家族の同意を得て、機能訓練を実施しています。又三ヶ月ごとに状態を確認しながら、看護師・介護職員、介護支援専門員等で、構成する機能訓練会議によって計画を見直し、より効果的な機能訓練を実施しています。特に立位保持は、排泄をトイレで行うための重要なファクターなので重視しています。

3 健康管理

- ① 血圧・検温・体重・脈拍・酸素飽和度等を必要に応じ恒常的に測定し、記録するとともに、顔色やツヤなどの変化も察知し、医師による健康相談や診察に役立てるとともに入居者の健康保持に努めています。
- ② 夜間における入居者の急変や発作時に対応するため、施設長にオンコ

ールで、指示を仰ぎ、且つ必要な場合には出動できる態勢をひいてできるかぎりの緊急措置を実施しています。

- ③ 介護職員による痰の除去や胃瘻の注人を合法的に実施できるよう国や大阪府の研修プログラムに基づいた研修を終了しており、大阪府から認定を受けています。必要な入居者には夜間でも措置を実施しています。
- ④ 入居者の発熱・負傷などに対しては、看護職員により、緊急措置を行い、配置医師の判断により、専門の医療機関への受診を促し、又場合によっては救急対応しています。
- ⑤ 内服薬についてご自分で管理服用されることが困難な入居者が殆どで、医務室にて預かり、毎回配薬し適切に服用されるよう管理しています。
- ⑥ 各入居者のかかりつけ医を把握しておき、救急の場合の受け入れ先の確保をしっかりと行なっています。
- ⑦ 終末を希望する方には、看取り看護・介護を実施致します。もちろん本人や家族の意向をや尊重しながら、静かに終末をむかえて頂けるよう医師・看護師・介護職員・生活相談員・介護支援専門員・管理栄養士等が常に連携し、お世話致しております。

4 日課

- ① できるだけ幅をもたせ、各個人の生活リズムを尊重します。
- ② 起床各人のリズムを大切にまずは着替えと歯磨き
- ③ 朝食午前8時頃パンやおかゆ等好みに合わせて調理
- ④ 昼食正午ごろ
- ⑤ 夕食午後6時ごろ
- ⑥ 入浴午前・午後適時入居者のリズムに合わせて
- ⑦ 排泄おむつは定期交換し、排せつ誘導は、その人のリズムに合わせて

5 行事

四季折々のなじみのある行事を計画し、思い出に浸って頂いたり、普段と違う食事を味わって頂いています。誕生会は、ユニット単位かフロア単位で毎月行い、お祝いすると共に入居者同士の交流を図っています。四季行事として、今年度は春祭り・夏祭り・クリスマス会を三大祭りとして盛大に行い。又年次行事として次の通り行います。

4月 春祭り	1月 お正月のお祝い
7月 夏祭り	2月 節分の豆まき
9月 敬老の日	3月 ひな祭り

12月 クリスマス会

その他職員や適宜ボランティアによる演技(歌・踊り・楽器演奏・手品)、地域のグループや学生で毎年5回から6回開催しています。又地域の学校教員、生徒の社会福祉研修、職業体験も継続して受けていきます。

6 職員研修

職員研修計画に基づきあらゆる機会を活用しながら、個々の職員スキルアップ並びに人が人を介護するのに必須の人権研修や事故防止、感染防止等の研修も積極的に随時取り入れています。

施設では、高齢者虐待防止、身体拘束廃止への取り組みも委員会として積極的に開催、事故防止委員会、感染防止委員会、褥瘡対策委員会、接遇委員会給食委員会、行事委員会等も継続して行っています。